

東日本大震災関連情報

心をつなげる

3月11日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に対してご冥福をお祈りしますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、現地で災害援助活動にあたられている皆様に深く敬意を表します。

震災から約半年が経ち、被災地で大きな爪あとが残る中、テレビ番組では折にふれて震災を振り返り検証する特集が見受けられるようになりました。それにつれ震災から一定の期間が経つと感じさせられますが、日が経つにつれ、「私（たち）に何かできることはないか」と言う気持ちも薄れてきてはいないでしょうか。

困っているだろう人のために、「もし自分だったら」と、相手の

立場に立つて考えたり、「お互い様だから」と心を運ぶ、そういう優しい気持ちを、被災地へ、そして未来を担う子ども達につないでいきたいと感じています。

私たちにでもできる災害への備え

地震が起きたとき

▼避難に車は使用しない

市街地はガレキなどでする思うように避難できず、渋滞になります。また、立ち往生して緊急車両の通行の妨げになることがあります。

▼屋内にいた場合

地震発生時に屋内にいた場合、安全を確保するため自分から進んで防災活動を行いましょう。

- ・机などの下にもぐり、身の安全を確保する
- ・あわてて屋外に飛び出さない
- ・窓や戸を開け、再び閉まらないうちに手近にある物を挟み込む
- ・ガスコンロやストーブの元栓を閉めるなど、火の始末を行う
- ・避難にはエレベーターなどを使用しない

▼屋外にいた場合

地震が発生すると、窓ガラスが落下してきたり、ブロック塀が

倒れてきたりします。靴や本などで頭を保護し、丈夫そうなビルや広い公園などが近くにある場合は一時避難して様子を見ましょう。

- ・デパートなどにいた場合、係の人の指示を聞いて避難する
- ・地下街では60m間隔内で出口があり、停電になっても誘導灯がつくので、落ち着いて係の人の指示を聞く
- ・映画館の場合は、シートの間に身を伏せて係の人の誘導を待つ
- ・駅のホームにいた場合は、頭を保護して柱や壁に身を寄せる
- ・ホームから落ちた場合は、助けを求めて引き上げてもらうか、揺れが収まるまで線路とホームの間にうつぶせになる
- ・海辺で揺れを感じたら津波に襲われる危険性があるので、すぐに高台に避難する
- ・落下物、切れた電線に注意する



引用 広島市防災Web

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/index.jsp>

義援金の受け付けを延長します

剣淵町では3月14日～9月30日までの義援金の受付を、平成24年3月31日まで延長することになりました。皆様からたくさん義援金が寄せられております。心から感謝申し上げます。

▼日本赤十字社北海道支部

剣淵町役場住民課（日赤剣淵分區）へ直接、義援金をお持ちください。受領書を発行いたします。免税領収書が必要な場合は、窓口で申し出いただくと、後日、日本赤十字社から発行されます。

▼北海道共同募金会

剣淵町社会福祉協議会（共同募金会）へ直接、義援金をお持ちください。受領書を発行いたします。

剣淵町で受付した義援金額

- 日本赤十字社北海道支部（住民課）
2,766,563円（9月20日現在）
- 北海道共同募金会（社会福祉協議会）
1,822,840円（9月20日現在）

義援金受付期間
平成24年3月31日まで